

## 種目【理科】

書名 項目	<h1>新しい理科</h1>	$\frac{2}{\text{東 書}}$
内 容	<p> <b>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</b>            ○単元末の「確かめよう」の問題では、観察、実験の知識を活用した問題が複数用意され、児童に考える力をつけることが配慮されている。            ○単元のはじめと終わりに、それぞれ「学ぶ前のわたし」と「学んだ後のわたし」があり、児童が学んだことによる知識の定着の確認と、自己の変容を感じられるような工夫がある。         </p> <p> <b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b>            ○考察の場面では、対話活動を意識したイラストと会話例が示され、話し合い活動をスムーズにできるように工夫されている。            ○観察、実験では、理科の見方・考え方をもって取り組めるよう配慮がされている。「学びをつなごう」では、前学年までの学習内容を効率よく振り返り、学習したこととの関連性を理解できるように工夫されている。         </p> <p> <b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b>            ○発展的な内容や学習したことに関連する内容が豊富に取り上げられ、理科に対する有用性を感じやすくなっている。            ○防災教育、環境教育、道徳教育、キャリア教育等との幅広い観点を考慮した編集が工夫されている。学習内容を提示する前に、見開きで大きな資料とともに児童の疑問を引き出す問いかけがされ、児童の主体性を学習に生かせる工夫がされている。         </p> <p> <b>&lt;見通しをもって観察、実験を行うための工夫&gt;</b>            ○巻頭に理科の学び方のページがあり、問題解決の課程がわかりやすくまとめられ、学習に見通しをもって取り組むことが取り上げられている。            ○「理科のミカタ」では、課題を解決していくうえでの重要な視点が示され、児童が観察、実験をするときに何に注目し、何を考えたらいいかを端的に示されている。         </p> <p> <b>&lt;自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するための工夫&gt;</b>            ○「理科のひろば」では、学習したことと関連する事物・事象が紹介されている。身の回りのものを科学的に捉えて考えることができる工夫がされている。         </p>	
資 料	<p>○写真やイラストが豊富で、視覚的にわかりやすい。</p> <p>○学びを深める問題と、活用問題、学んだ後の私、理科のミカタなど、児童に考えさせる資料が多い。</p> <p>○巻末に、学習内容に関連した器具の使い方、教材、学習のまとめがある。</p>	
表 記 ・ 表 現	<p>○問題文は、大きく太字で記されている。</p> <p>○まとめは簡条書きで示され、学習したことを理解しやすい。</p> <p>○実験、考察、まとめでは、囲いや背景の色が統一されている</p>	
総 括	<p>○写真が大きく鮮明で資料性が高い。問題解決の過程を意識した作りで、学習の導入からまとめまで一貫した流れができている。</p> <p>○偉人の紹介や日常生活と関わり、児童の変容、理科の見方・考え方を深める内容など、配慮が細かい。</p>	

## 種目【理科】

書名 項目	<h1>たのしい理科</h1>	4 大日本
内 容	<p> <b>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</b>            ○観察、実験では、手順が1ページおよび見開きで示されていて見やすい。手順を正しく理解し、観察、実験を正確に行えるように工夫されている。            ○「確かめよう」の後に「学んだことを生かそう」があり、知識の確認後、スムーズに知識を活用した問題に取り組める工夫がある。         </p> <p> <b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b>            ○考察や結論だけでなく、問題解決の過程のいろいろな場面に話し合い活動を入れている。予想と計画を児童に対話的活動で考えさせ、それに従って実験を進めるなどの工夫がある。            ○学習場面の提示が何々について「話し合いましょう」と対話を前提とした作りになっていて対話的な活動に取り組みやすい工夫がある。         </p> <p> <b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b>            ○言語能力の育成、環境教育、道徳教育、キャリア教育、科学技術、外国語などとの関連を図り、現代的な諸課題への興味、関心を高める工夫がある。         </p> <p> <b>&lt;見通しをもって観察、実験を行うための工夫&gt;</b>            ○導入では、既習内容を示し児童が今までの学習と関連付けながら疑問をもてるように配慮されている。            ○学習過程ごとに統一した色わけがされていて、児童が視覚でも把握しやすい構成となっている。            ○巻頭に理科の学び方のページがあり、問題解決の過程がわかりやすくまとめられ、学習に見通しをもって取り組むことが取り上げられている。         </p> <p> <b>&lt;自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するための工夫&gt;</b>            ○考察や結論だけでなく、問題解決の過程のいろいろな場面に話し合い活動を入れている。予想と計画を児童に対話的活動で考えさせ、それに従って観察、実験を進めるなどの工夫がある。         </p>	
資 料	<p>           ○巻末にチャレンジ問題がある。            ○巻末に次の学年で学習することのガイダンスがある。            ○1年間で学習したことを記入式でまとめてある。         </p>	
表 記 表 現	<p>           ○文字の太さや下線だけでなく、文字の背景色も統一されているなどの工夫がある。            ○キャラクターによる問題提起や観察、実験のまとめが多い            ○重要な用語は太字で示されている。         </p>	
総 括	<p>           ○観察、実験と結果の色分けや、写真やイラスト多さなど、児童が視覚的に理解できるよう工夫がされている。            ○学習活動では、対話的な活動が問題解決の過程に無理なく配置されている。            ○多岐の分野にまたがる多くの資料もある。            ○視覚的にわかりやすく、理科の内容項目だけでなく、児童が身につけるべき力をバランスよく配置している。         </p>	

## 種目【理科】

書名 項目	みんなと学ぶ 小学校理科	1 1 学 図
内 容	<p> <b>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</b>            ○各単元末に知識の振り返りと活用問題が設けられており、確かな知識の定着が工夫されている。            ○観察・実験の適切な位置と巻末には、実験器具の使い方などの技能の他に学習に必要な技能についても記載している。一連の作業を細かなステップに分解し、一つ一つチェックしながら児童が学習できるよう工夫されている。         </p> <p> <b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b>            ○これまでの学びをもとに、予想や考察を行ったり、学習と身の回りの出来事をつなげて考えたりできるよう構成されている。            ○学習したことを応用して考えたり、身の回りの事象に適用して説明したりする場面が設けられ、思考力・判断力・表現力の育成が図れるような場面が工夫されている。         </p> <p> <b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b>            ○問題解決の流れがページの左にバーで示されている。そのページが問題解決のどの部分に当たるのかが明示されており、児童が主体的に学習できるよう工夫されている。            ○観察、実験の後や、単元末での振り返り、あるいは生命尊重などを意識した箇所にマークを配置し、継続して意識することができるよう工夫されている。         </p> <p> <b>&lt;見通しをもって観察、実験をおこなうための工夫&gt;</b>            ○冒頭に問題解決の過程を8つのステップで示している。それが学習の流れにつながるよう構成されていることで学習の流れが明確になり、見通しをもって学習できるよう工夫されている。            ○導入で単元の学習の流れが提示されている。また、児童が「やってみたい、知りたい。」と興味をもつような導入が提示されており、見通しと意欲をもって学習できるよう工夫されている。         </p> <p> <b>&lt;自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するための工夫&gt;</b>            ○問題解決の各場面や活動では、キャラクター同士の対話などから児童の考えを引き出すように工夫されている。考察では、考える視点が示されている。            ○同一の実験を複数回、または複数の実験方法で検証する例が紹介されており、児童が問題を科学的に解決できるよう工夫されている。         </p>	
資 料	<p>           ○写真や図が多く使われている。判別しづらい色遣いは避け、実験での試薬の変化などは可能な限り色名が明記されており、ユニバーサルデザインに配慮されたものになっている。         </p> <p>           ○実験器具の使い方はQRコードを読み取ることで動画でも確認できる。         </p> <p>           ○巻末に、実験器具の使い方の他に、「伝える・聞く」「記録する」「調べる」など、学習に必要な技能についての資料がある。         </p>	
表 記 ・ 表 現	<p>           ○ページの下に、問題解決の場面が明示されている。         </p> <p>           ○問題文やわかったことなどの、問題解決の各項目のレイアウトが統一されている。         </p> <p>           ○紙面の字体はユニバーサルデザインに配慮したものを使用している。         </p> <p>           ○各活動にはマークを付けて、目で見てわかるように活動内容が記されている。また、図で考えを表したり、フローチャートをつかたりして考えの整理ができるよう工夫されている。         </p>	
総 括	<p>           ○与えられる「問題」ではなく、児童が解決したくなるような導入や場面が設けられている。         </p> <p>           ○学ぶことを確認してから学び、振り返りを行う構成になっており、確かな学びにつなげている。         </p> <p>           ○命と触れ合うことの喜びや、生き物の気持ちになって考えることに触れ、命を尊重する心が育まれるよう工夫している。         </p> <p>           ○すべての観察・実験等の活動について、防災・安全意識が高まるよう工夫されている。         </p>	

## 種目【理科】

書名 項目	未来をひらく 小学理科	17 教 出
内 容	<p> <b>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</b>            ○各単元末に、児童が自分で習得の度合いを確認できる評価問題「確かめ」を設け、基礎的・基本的な知識や技能を習得できるよう配慮されている。            ○観察、実験においては、器具や装置などについて個別に詳しい解説が載っており、習得すべき基礎的・基本的技能を児童が習得できるようにしている。         </p> <p> <b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b>            ○予想や計画の場面では、予想や調べ方について自分の考えを伝え合う児童の姿を扱い、既習の内容や生活経験をもとに思考し、表現する力が育成されるようになっている。            ○結果を考察する場面では、得られた結果と自分の予想を比べて考える児童の姿を扱い、自分の予想の確かさを判断し、表現する力が育成されるようになっている。         </p> <p> <b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b>            ○問題解決の過程ごとに、児童が自らの予想を伝え合ったり、得られた結果をもとに考えを発表し合ったりする場面を取り上げ、対話的に学び合って学習できるよう工夫している。            ○単元ごとに主人公となるキャラクターを設定し、友達との活動や話し合いを通して問題を見いだす構成になっている。また、児童が話し合う場面の例示は吹き出しを使って示されている。         </p> <p> <b>&lt;見通しをもって観察、実験を行うための工夫&gt;</b>            ○「計画しよう」で観察、実験の結果を予想する児童の姿を表現したり、「結果から考えよう」で予想と結果の一致・不一致を考える児童の姿を表現したりして、見通しをもつことの意義が児童にわかるように工夫されている。            ○各学年の巻頭に「学習の進め方」をわかりやすく示し、続く紙面も同じ表現で展開されている。         </p> <p> <b>&lt;自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するための工夫&gt;</b>            ○観察、実験によって得られた結果をもとに、自分の予想を検討する児童の姿を表現し、児童が科学的に問題を解決できるよう工夫している。            ○観察、実験の結果が、予想と一致しなかった場合を取り上げ、児童が自分の考えや調べ方を確認したり、見直したりすることの大切さが実感できるよう工夫している。         </p>	
資 料	<p>           ○巻末に1年間の学習で習得してきた事項と学習内容を振り返ることができる資料がある。            ○単元末の「確かめ」では、基礎基本的な知識が身につく問題と、活用問題がある。            ○学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができる「まなびリンク」を設け、QRコードを使って情報を見ることができるようになっている。            ○写真やイラストが大きく掲載され、ユニバーサルデザインに配慮したものになっている。         </p>	
表 記 ・ 表 現	<p>           ○学習上、重要な語句については太字で強調し、マーカーで線が引かれている。            ○問題解決の過程を統一感あるアニメの人気キャラクターのマークで示している。            ○問題解決の各項目はレイアウトが統一されている。それらはページ単位で上から下へ流れるようなデザインになっていて、学習の流れが見やすいようデザインが工夫されている。            ○各活動場面にはマークが付いており、活動のねらいが分かりやすくなるよう工夫されている。         </p>	
総 括	<p>           ○巻頭に「学習の進め方」や「自分たちの考えをつたえ合い、学び合おう」を設け、児童が問題解決の学習の流れを意識したり、話し合いの仕方を意識したりできるように工夫している。            ○問題解決の学習によって得た知識を別のものに当てはめて考えたり、身の回りの事象に応用して考えたりする「学びを広げよう」を設け、役に立つ理科の学びを実感できるようにしている。            ○安全に対する配慮が必要な箇所にはめだつ「注意」「きけん」マークが付けられている。         </p>	

## 種目【理科】

書名 項目	<h1>わくわく理科</h1>	61 啓林館
内 容	<p> <b>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</b>            ○単元導入の「はじめに考えてみよう？」と単元末の「もう一度考えてみよう！」の両方のページにより、始めの問いかけを学習の終わりで自己評価することで、自己の習得を確認できる。            ○単元末に「たしかめよう」のページを設け、学習内容を振り返りながら、確実に知識及び技能の定着を促すための工夫がなされている。         </p> <p> <b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b>            ○巻末に「記録カードのかき方」「ノートのとめ方」、「伝えるときのまとめ方」のページを設け、記録を整理してレポートにまとめて表現する力が身につくようになっている。            ○「結果から考えよう」のコーナーでは、観察や実験の結果を基にして、考えを深める視点が示されており、思考力や判断力をつけることができる。         </p> <p> <b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b>            ○「理科の広場」や単元末の「つなげよう」のページでは、社会や日常生活と関連した内容を、絵や写真で表しており、理科への興味や関心を高める工夫がなされている。            ○「もっと知りたい」のページを設けることで、観察、実験から分かったことからさらに新たな問題発見へと向かう意欲づけができるような工夫が見られる。         </p> <p> <b>&lt;見通しをもって観察、実験を行うための工夫&gt;</b>            ○単元の導入で「学習のめあて」を示し、単元で学習する内容を意識させ、見通しをもってその後の観察、実験へと取り組みようになっている。            ○キャラクターの吹き出しセリフによって、学習の見通しをもたせるためのヒントとなるような工夫が見られる。         </p> <p> <b>&lt;自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するための工夫&gt;</b>            ○単元末に「活用しよう」のページを設け、図や写真から必要な情報を読み取って、考察する問題を扱い、知識を応用する力や科学的に説明する力を養うようになっている。            ○巻末に「理科の考え方をはたらかせよう」のページを設け、各学年で育成すべき問題解決の力をノーベル賞受賞者等の著名な科学者のメッセージや具体的な事例を示してある。         </p>	
資 料	<p>           ○各学年ともに観察、実験の中から条件を制御する活動を入れたり、実際にセンサーやコンピュータを活用したりする学習を取り入れ、プログラミング教育への対応がなされている。            ○単元の始まりと終わりをはじめとして、紙面にQRコードを掲載し、学習内容と関連する参考情報をタブレット等のICT機器で閲覧できるようになっている。            ○「保護者の方へ」のページを設け、理科の楽しさを家庭に広げるように工夫されている。         </p>	
表 記 ・ 表 現	<p>           ○問題解決の過程を「①見つける→②調べる→③ふり返る」とフローチャートのように矢印で結んだレイアウトになっており、児童が学習の流れをつかみやすい表記になっている。            ○他社の教科書に比べて、字体のポイントが大きめであり、行間も十分に設けていることにより見やすくなっている。            ○最新情報の写真やデータが多く掲載されており、見やすく分かりやすくなっている。         </p>	
総 括	<p>           ○児童が主体的に問題解決に取り組むことができるような構成になっている。            ○基礎、基本を確実に理解させた上で、科学的な思考力や表現力が育つような構成になっている。            ○実生活との関連を意識させる内容が多く、児童が理科を学ぶことの有用性を実感でき、学びつづける意欲づけができるようになっている。            ○A・B版で開きやすく、強度もある綴じ込みになっているので使いやすい。         </p>	